令和7年度　江戸川区立瑞江小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	江戸川区の教育目標を受け、未来を担う子どもたちの豊かな人間性と道徳心を培い、自ら学び実践する個性や想像力を伸ばす教育の充実を目指す。また、地域とともに歩む区立小学校として「瑞江地区の人々とのかかわりの中で地域の宝として生き生きと学ぶ瑞江小の子」の育成に努める。	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	人権尊重の精神を基に、国際社会に貢献できる日本人の育成を目指す。 ◎よく考える子　〇元気で明るい子　〇進んで物事をする子　〇思いやりのある子
前年度までの本校の現状	成果：ドローンやプロジェクションマッピングなど最先端の技術に触れる出前授業を実施し、society5.0時代の到来を見据えた教育をすすめることができた。教員が児童とともに積極的に運動に取り組み、体を動かす意欲の向上が図られた。	課題	「令和の日本型学校教育」で示される「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業開発を、教員一丸となってさらにすすめて、児童の学力向上や学ぶ意欲を高めること。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	〇「個別最適な学び」と「共働的な学び」の発展	様々な学習活動におけるICTの利活用の推進	毎日、タブレット端末を活用した授業を実施											
	〇GIGAスクール構想の取組み	各教科指導の中でプログラミング学習を取り入れる	高学年を対象とした外部講師によるプログラミング授業を実施											
	〇読書科の更なる充実	公共図書館巡回職員と連携した探究学習の実施	全学年で「調べる学習コンクール」に作品を応募											
体力の向上	〇運動習慣の定着	学期に1回の「なわ跳び週間」の設定および「なわとび出前授業」の実施	８５％以上の児童が江戸川区なわ跳びコンテストに参加											
		全校児童による様々な運動遊びの実施	年間で20回程度、中休みに全校運動遊びを実施											
共生社会の実現に向けた教育の推進	特別支援教育の充実	通常学級と特別支援学級との積極的な交流	日常的な交流、共同学習の実施 特別支援の理解推進教育を実施											
	個に応じた支援の充実	巡回指導教員や特別支援教室専門員、障害児介助員の積極的活用	毎月、ケース会議を実施し指導・支援の方針確認 マンパワーの補強											
不登校・いじめ対応の充実	生活指導の充実	SC、特別支援コーディネーター、SSWと連携した適応支援	毎月１回、不登校対策委員会を実施し情報共有											
	OL-GATEの活用	ICTのシステム活用によりきめ細かに児童の様子を把握し即時的な対応、支援にあたる	気になる児童には即時対応 学期に1回校内で研修・分析を実施											
地域社会に開かれた学校（園）の	〇学校（園）ホームページの充実等	学校ホームページの更新	「学校日記」「今日の給食」を中心に毎日更新											
	家庭・地域との連携	家庭と連携した情報モラル教育の実施	学校便りや保護者会などでSNSルールを共有											

に 実現	近隣幼保・小中学校との連携	小中連携教育および保幼小連携教育の実施	年間を通して行事の参観や交流、授業体験を実施											
特色ある教育の展開	○授業力・学級経営力の育成	教職員の「共働型問題解決能力」の向上	年間４回の校内授業研究および月１回の自主研修を実施											
	○働き方改革	校務支援システムの活用や会議の精選などによる仕事の効率化	月別時間外労働35時間以下を目指す											